

ひのっ子エコアクション各校の取組み例

小学校	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
日野第一小学校	校庭の落ち葉集めや草取り、ゴミ拾い。落ち葉は校庭内の集積所で腐葉土にし、田畑の肥料として使用している。 一クラスつりでは、例年70リットルサイズのゴミ袋が3〜4個分出ていたが、子どもたちの呼びかけにより、まつり用のゴミ袋はゼロになった。	エコキングの回収率を高めた。多くの児童が取り組み、エコ意識がもてた。	ごみが多く出されている。特に紙ごみが目立つので、各教室にリサイクルボックスを設置して分別する。	・廊下や教室などの電気のこまめな消灯、節水、裏紙利用、各学級でのごみの分別。	・各クラスでの節水・節電指導 ・裏紙の再利用 ・プラスチックごみ新設の周知徹底 ・会議資料のペーパーレス化
豊田小学校	子どもまつりでは、必要以上に段ボール等の材料を使用しないよう呼びかけた。 毎月、児童と教員で節水や節電への取り組みについて振り返りを実施した。意側電気の使用についてアンケートをとったことで、エコに対する意識が高まり、意側の電気を消している教室が増えた。	給食便りを活用し、食への関心を高めたり、給食委員会が完食したクラスに「空っぽ賞」を渡したりすることで残菜を減らす取組を行った。	今年度、市内の残菜調査の結果がとでもよかったことを活かし、来年度も引き続き指導していく。そのために、来年度の時は給食の時間を5分多くとる予定である。	・給食の時程で、時間を5分多くとることで余裕をもって給食の準備をすることができた。 ・市内の残菜調査の結果が良かったことを活かしつつ、来年度も引き続き指導していく。	・エコ目標を掲げ、学期毎に教職員全員で振り返りを行い、次の学期に生かすようにした。
日野第三小学校	環境委員会を設置した。 毎週石拾い・ゴミ拾いを行い、エコ意識を高めている。	給食の食べ残しをできるだけ出さないようにした。（残菜ゼロ活動）	各教科・領域、特別活動などで地球の環境に目を向けて、省エネやゴミの削減活動を行っていく。	・さらに次年度は、各クラスで、地球環境に目を向け、省エネ、ごみの削減に取り組めるようになる。	・ごみを減らし、給食の残菜を減らせるように努力した。
日野第四小学校	校内にある風力発電の記録をとり、節電の意識を高めた。 毎月、児童と教員で節水や節電への取り組みについて振り返りを実施した。 栄養士による栄養指導と関連させ、残菜を減らすよう努めた。	月1回、児童と教員に節水や節電などへの取組について振り返りを実施した。	引き続き児童・教員ともにエコアクションへの取り組みの反省を取り意識付けをする。 エコキングについて、環境委員会に呼びかけてもらうなどして回収率を高める。	・引き続き児童・教員ともにエコアクションへの取り組みの反省をとり、意識付けをする。 ・エコキングについて、環境委員会に呼びかけてもらうなどして回収率を高める。	・紙使用量の削減（裏紙の使用） ・廃棄物の削減（印刷物の適正枚数作成 授業で使う消耗品の節約等）
日野第五小学校	緑のカーテン実施（ツルレイシ、ヘチマ） ゴミや落ち葉を拾うクリーン活動を行った。 授業では裏紙を積極的に使用した。	「廃棄物ゼロ」「無駄ゼロ」に向けての取組を行った。ゴミの分別とリサイクルを徹底した。 全学年で学校周辺のゴミや落ち葉を拾い、落ち葉の堆肥化やクリーン作戦に取り組んだ。	児童：児童会で話し合い、全校で環境に取り組める活動を提案していく。 教員：電気の使用量をグラフなどを活用して視覚化し教員全体で電気量を減らす意識を高めていく。	・環境委員会と連携して、定期的にエコ活動を行う。 ・学校全体で、クラスに電気の消す係を設け、節電に努める。	・水道の出し過ぎに注意して鉛筆の細さにする。 ・教室移動や空いている教室はこまめにスイッチを消す。
日野第六小学校	各家庭の不用品（歯ブラシ、雑巾、新聞紙等）を再利用した清掃活動を行った。 エコに関する壁新聞を作成し発表し合うことで互いの取り組みを知り、広げることができた。	全学年で学校周辺のゴミや落ち葉を拾い、落ち葉の堆肥化やクリーン作戦に取り組んだ。	・トライ&チャレンジ（落ち葉掃除、落ち葉の堆肥化）などの取り組みを継続し、環境意識をさらに高めるよう、CO2削減の必要性などの学習に取り組む。	・トライ&チャレンジ（落ち葉掃除、落ち葉の堆肥化）などの取り組みを継続し、環境意識をさらに高めるよう、CO2削減の必要性などの学習に取り組む。	・エコアクションシート（児童用）で毎月の振り返りをしている。 ・正しくゴミの分別ができるように、見やすい位置に表示をしている。
潤徳小学校	節電習慣を通して、こまめに電気を消す。 給食指導をとおして残菜を減らす活動に取り組んだ。	ゴミの減量に意識して取り組んだ。	ごみ袋の削減を徹底したい。また、PTAとも協力し、ペルマーク、インクカートリッジ、テトラパックの回収を行い、エコに努めていく。	・ごみ袋の削減を徹底したい。 ・また、引き続きPTAとも協力し、ペルマーク、インクカートリッジ、テトラパックの回収を行い、エコに努めていく。	・エコキャップ、テトラパックの回収。
平山小学校	エコ委員会がエコアクションについて周知するため、劇やクイズを取り入れたエコ集会を実施した。	晴れている日の意側の電気を消灯した。可燃ゴミのゴミ箱のみを設置した。	・各学年・学級で電気・エアコンの適正な使用や紙の再利用等を意識して取り組む。 ・教職員の取り組みについては、引き続き、勤務時間の見直しとゴミの分別・私物ゴミの持ち帰りを呼びかける。	・退勤時刻の繰り上げやエネルギーシェアの一層の推進による電気使用量の削減。 ・緑のカーテンの継続。紙のリサイクル・リユースによる可燃ごみの削減。	・退勤時刻の繰り上げ、放課後は校務センターでの職務を進め、節電を心掛ける。 ・全教室、職員室に燃やすぐみ、燃やさないごみを設置することで分別の意識を高める。
日野第八小学校	緑のカーテン実施（ツルレイシ、ヘチマ） 落とし物コーナーを常設した。 作品展では、紙パック等を再利用した作品作りを行い、資源を大切にすることを育てることができた。	職員が整理整頓を心掛けることを狙いとした、学校内の物の整理整頓を行った。	各学級や委員会の活動で、節電、節水、残菜について、引き続き取り組む。 次年度は新たに、各学級や委員会の活動として緑のカーテンなど植林活動に力を入れて取り組む予定である。	・各学級や委員会の活動で、節電、節水、残菜について、引き続き取り組む。 ・ごみの分別を徹底できるよう環境整備する。特に、紙ごみなどの資源をリサイクルする。	・持続可能な社会を担う児童の育成を目指して、ESDの視点を取り入れた教育活動を各学年で年間を通して行う。 ・可燃ゴミ・不燃ゴミ・雑紙・プラの分別を徹底する。 ・退室時には、こまめに電気を消す。 ・水道の水の出しすぎに注意し、水の出しっぱなしはしない。
滝合小学校	栄養士を中心に食育コーナーを工夫し、各教室を回って給食指導を行った。また通級担任も各学級に入り、担任と共に給食指導を行ったことにより、学校全体の残菜量の減少につながった。	夏・冬のエコキングでは、回収100%を目指して各担任と協力して取り組んだ。 給食時の声掛けや週に2回のクイズなどで食育に取り組むつつ、残菜が減るように取り組んだ。	次年度も緑化活動と水路を生かした、ビオトープの活用。委員会活動を通して、3Rの意識を育て、エコに関する活動を増やしていく。	・芝生整備に加えて、保護者・地域と連携したビオトープ整備に取り組む。 ・委員会活動を通して日常的な節電・節水等環境を含んだSDGsをさらに周知し、理解を深めさせエコに関する意識を向上させ実践できるようにする。	・芝生再生プロジェクト(緑の校庭)で学校やPTA、地域と連携して芝生の維持管理、田んぼや畑、ビオトープの活用と整備 ・裏紙・使用済み封筒の利用
日野第七小学校	地域と協力して、定期的に空き缶、牛乳パックの回収を行った。 教室を出る時は電気を消すことを呼びかけ続けることで、児童が積極的に電気を消すようになった。	ゴミの分別、電気のスイッチをこまめに消す、ゴミを減らすように努力する。	児童自らエコについて考え、積極的に取り組める活動を行う。	・引き続き、節電、節水に努め、給食の残菜を減らす意識を高めることができる集会や児童会活動を行っていく。 ・全校で、地域のクリーン運動やリサイクル品の回収に努めていく。	・節電、節水、ゴミや給食の残菜量を減らすよう、職員や児童に周知し、実践の徹底を図った。
南平小学校	緑のカーテン実施（ゴーヤ、ツルレイシ、アサガオ） 子どもまつりで、ゴミが出ないような計画を立てるように意識したことで、ゴミを減らすことができた。	ゴミ分別を呼びかけた。給食を残さないよう指導した。両面印刷や裏紙の使用に努めた。	児童会で子ども祭りなどの学校行事を計画するにあたり、エコについて呼び掛ける活動を継続して行う。 各クラスで給食の残飯を減らす活動を行う。学級活動の時間を活用して、学校全体で取り組む期間を設定する。	・子どもまつり等の学校行事を計画するにあたり、エコについて呼び掛ける活動を継続して行う。 ・各クラスで給食の残飯を減らす活動を行う。	・各クラスでリサイクルボックスを設置し、指導した。 ・ごみ袋がいっぱいになってから廃棄場所にごみを捨てるようにした。
旭が丘小学校	旭小祭では、ゴミを出さないことをルールとした。 残菜を減らすため、完食したクラスにベロク賞を贈る取り組みを行った。これにより、残菜が減っただけでなく、残さず食べる習慣が身についた。	傘の忘れ物による処分をなくするため、学期末に児童に傘を持ち帰らせた。 落とし物を減らすため、持ち物に名前を書くことを徹底して指導した。また、学校公開では落とし物を提示し、保護者に忘れ物を取りに来るよう放送で呼び掛けた。	今後は、職員だけでなく、児童に対してもエコ活動の大切さを周知していく必要があると感じた。	・今後は、職員だけでなく、児童に対してもエコ活動の大切さを周知していく必要があると感じた。	・教員・児童のエコ意識を高める。ごみの分別・リサイクルを進めた。 ・不要な照明を消す、使っていない機器は電源を落とすなどの節電に取り組んだ。
東光寺小学校	ミニ文化祭で、ゴミ持ち帰り運動を実施した。 全教室同じ場所に温度計を設置することで、冷暖房の温度調節ができた。	温度計設置により、温度管理をし、冷暖房の適正な使用に心掛けた。	紙一枚大切にすることをはじめ、児童一人一人の心を育ていける取り組みを新たに全校で考えていきたい。	・紙ごみの分別が徹底されていない。リサイクルごみ、燃やせるごみ、燃やせないごみの分別を促進する。 ・エコキングについて保護者会・学年便り等を通して、家庭にも呼び掛けることで、さらに回収率を上げる。	・もったいない大作戦で、各クラスごとに目標を決めて取り組んだ。
仲田小学校	栄養教諭・給食委員会によるからっぽ賞、残菜調査等の取り組みを通して、好き嫌いなく残さず食べることができるようになり、残菜を減らすことができた。	クリーン活動、落ち葉清掃、給食で「からっぽ賞」の取組みを行った。	給食委員会の児童によるレシビ作りは次年度も引き続き行う予定。 空き缶、インクカートリッジ、テトラパック等のリサイクル活動も継続していきたい。	・給食委員会の残菜調査やポスター等の呼びかけを、引き続き行っていく。 ・PTAと協力して、空き缶やインクカートリッジ、テトラパック等のリサイクル活動を今後も継続していきたい。	・保護者と協力してリサイクル活動を行い、全校で落ち葉拾いに取り組んだ。
夢が丘小学校	緑のカーテン実施（ゴーヤ、ツルレイシ、アサガオ） 給食で出るテトラパックをリサイクルし、ペルマークポイントに換え、学校遊具を購入することができた。	エコな取組を各クラスで考え、月毎に振り返りをした。	エコアクションの自校の取り組みに節電の項目を追加する。縦割り班のボランティア活動としてゴミ拾い活動を行う。家庭にも広げていきたい。	・アサガオを用いたグリーンカーテンの作成。 ・ランチルームにある掲示物の活用による残菜ゼロに向けた取り組み。	・チェック表を活用し、毎月振り返りをして取り組んだ。 ・エコ目標を、各クラス決め掲示し取り組んだ。
七生緑小学校	全校集会で、地球温暖化での危機を説明し、児童一人ひとりが自覚をもってエコ活動ができるよう促した。 残菜を減らすため、給食からっぽ賞を出した。	環境委員会の児童が中心となり、毎学期1週間程度エコキャップウィークを設け、ペットボトルキャップの回収を行った。	エコキャップウィークの取り組みを継続する。3Rの意識啓発のため、目標を学級で定める。	・エコの意識を高めていくために、環境委員会を中心にエコキングの呼びかけを実施する。 ・エコキャップウィークの取り組みを継続する。	・教職員のコンビニ弁当などのゴミの持ち帰り ・各教室の電気の見回りなどの強化 ・雨水を利用したスプリングラー

中学校

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
日野第一中学校	緑のカーテン実施（ゴーヤ、パッションフルーツ） 環境にやさしい学校、の学習	緑のカーテン、ゴミの分別、「ヒマワリデー」による清掃活動。	地域とのかかわりをはじめ、なるべく多くの生徒が活動に主体的にかかわる機会を多く用意することにより省資源、省エネルギーへの意識を高めていきたい。	・地域とのかかわりをはじめ、なるべく多くの生徒が活動に主体的にかかわる機会を多く用意することにより、省資源、省エネルギーへの意識を高めていきたい。	・緑のカーテン、ゴミの分別、「ヒマワリデー」による清掃活動、校内美化活動に積極的に取り組む
日野第二中学校	残菜量の公表、残菜の削減の呼びかけを実施したことで、実際に残菜が減った学年があった。 エコクッキングの実施	総合的な学習の時間を通してエコの教育を行った。委員会活動において呼びかけ運動に取り組んだ。	省エネに関しては、美化委員だけでなく他の委員会や生徒会全体で呼びかけをした。ポスターを作らせることでそれを見る生徒だけでなく作る生徒の意識も高めた。	・裏紙の利用の徹底。 ・電気・エアコンをこまめに消すことを各学年で徹底すること。	・再利用、節約、ゴミの分別を徹底して行う。
七生中学校	教室の電気をこまめに消したり、エアコンの設定温度を少し下げて使用したりした。 緑のカーテン実施（ゴーヤ、ツルレイシ、アサガオ）	再生紙はゴミとして出さずリサイクルへ、こまめに消灯を呼びかける。エコキャップ回収。	生徒会を中心とした、エコな呼びかけ運動（電気をつけっぱなしにしない、節水を行う） 給食委員会による残食0への呼びかけ、ポスターの作成	・ペットボトルキャップの回収 ・節電、節水の呼びかけ ・会議資料のペーパーレス化（徹底）	・節電、節水を呼びかける内容の掲示を校内で行っている。
日野第三中学校	生活委員の生徒を中心に、教室移動時に電気・暖房を消すようにしてエコキャップ運動を定期的に開催している。	生活委員の生徒を中心に、教室移動時に電気、暖房を消すようにしている。	節電以外にも、身近に取り組める緑のカーテンなどに挑戦していきたい。	・生徒会の活動としてエコキャップ運動を行い、学校全体にエコキャップ回収を通じた環境活動の意識づけを行う。	・職員室において学校全体エアコンを一括管理し、気温の変化に応じて学習環境を生徒自ら行うように努める。
日野第四中学校	給食委員による定期的な完食ウィークの実施により、残菜の減少につながった。 各教室でリサイクルボックスの紙の分別を実施した。	生徒会主催のクリーン作戦。美化委員によるリサイクルボックスの管理。	リサイクルボックスの紙の分別 使用しない電気、扇風機、エアコンの消灯	・古紙回収活動・省エネルギー指導	・校内にごみの分別のポスターを貼り、ゴミ箱に分別の表示、エコアクションに取り組んだ。
三沢中学校	美化委員会が中心となり、美化チェックシートを活用しゴミの分別や電気の消し忘れ、紙のリサイクルのチェックを行った。	・裏紙の再利用（教職員） ・ゴミ袋の削減（フロア毎に毎日一括回収し、週末にまとめて捨てる） ・節電の取組（美化委員会による声掛けをおこなった） ・もったいない選手権（給食委員による残菜削減の取組）	・美化委員会を中心とした節電の取り組みを活性化させる。 ・省エネ、省資源はもとより、物を大切に、ごみを出さないための工夫を考えていく。	・今年度同様リサイクルボックスを各教室に設置。 ・電気使用についてエコ運動を行う	・ペットボトルキャップの回収 ・ゴミの分別 ・職員・ゴミの持ち帰り 裏紙の再利用
大坂上中学校	給食委員会を中心に、給食の残菜を減らす呼びかけを行った。ふれあい祭りでのごみの分別を徹底した。	エコキャップ回収の呼びかけ、ゴミの分別徹底、節電の呼びかけ。	まずは、これまで続けてきた活動については、来年度も続けていくようにする。新しい試みというよりかは、今行っている活動をより深められるような呼びかけをしていきたい。	・裏紙の再利用、キャップ回収、節電など	・裏紙の再利用 ・キャップ回収 ・節電
平山中学校	給食便りで残菜による浄化問題について取り上げる等、残菜を減らすよう呼びかけた。 緑のカーテン実施（ゴーヤ）	清掃活動にしっかり取り組み、学校全体の環境美化を心掛けた。	日々の生徒指導の中で環境美化に関して行っていることを見直し、計画的に行うようにしていきたい。	・ゴミの減量、節水・節電指導	・給食の残飯指導を積極的に行った。 ・節電を意識した。

*平成18年度より事業実施

研究事業実施状況（研究主題）

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
日 野 第 一 小 学 校	なかよく協力する子供の育成 ～豊かにかかわる体育学習を通して～	仲間と体を動かすことの心地よさを感じる体育学習	仲間と体を動かす楽しさを味わい、主体的に学ぶ体育学習	人と関わることを楽しみ、主体的に学ぶ生活科・総合的な学習の時間	多種多様な学びのある指導 ～一人一人が主体的に学ぶ姿をめざして～
豊 田 小 学 校	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身に付けた児童の育成 ～9年間の学びの連続性を生かして～	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身に付けた児童・生徒の育成 ～9年間の学びの連続性を生かして～（豊田小・五小・二中連携）	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身に付けた児童・生徒の育成 ～9年間の学びの連続性を生かして～（豊田小・五小・二中連携）	豊かな心で進んで学ぶ児童の育成	豊かな心で進んで学ぶ児童の育成 ～生活科・総合的な学習の時間を通して～
日 野 第 三 小 学 校	国語科における授業のユニバーサルデザイン	国語科授業（文学）におけるユニバーサルデザイン ～考えたくなる授業を求めて～	国語科授業のユニバーサルデザイン ～考えたくなる授業を目指して～	「授業のユニバーサルデザイン」 ～考えが深まる授業を目指して～	国語科授業のユニバーサルデザイン ～考えが深まる授業を目指して～
日 野 第 四 小 学 校	自分や周りの人を大切にする子供の育成	「だれもが体を動かす楽しさを味わい、主体的に学ぶ体育学習」 ～豊かなかかわり合いを通して～	自分の考えをもって伝え合い、表現し合う子供の育成 ～「読むこと」の指導を通して～	「自ら論理的に考える児童の育成」 ～プログラミング教育を通して～	児童の論理的思考の育成を目指して ～プログラミング教育を通して～
日 野 第 五 小 学 校	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身につけた児童の育成 ～9年間の学びの連続性を生かして～	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身に付けた児童・生徒の育成 ～9年間の学びの連続性を生かして～（豊田小・五小・二中連携）	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身に付けた児童・生徒の育成 ～9年間の学びの連続性を生かして～（豊田小・五小・二中連携）	自他の思いやよさを大切にし、主体的に行動する児童の育成	自他の思いやよさを大切にし、主体的に行動する児童の育成
日 野 第 六 小 学 校	「学び・考え・発信する授業の創造」 ～「話すこと・聞くこと」の能力を育てる学習指導の工夫～	「学び・考え・協働し、発信する授業の創造」 ～人とのかかわり合いを大切にし、学びを実践に結び付ける学習指導の工夫～	学び・考え・協働し、発信する授業の創造 ～人とのかかわり合いを大切にし、学びを実践に結び付ける学習指導の工夫～	「学び・考え・協働し、発信する授業の創造」 ～確かな書く力を育む学習指導の工夫～	主体的・対話的で深い学びを実現するための資質・能力の育成 ～プログラミング教育を通して～
潤 徳 小 学 校	「分かった！楽しい！もっと知りたい！」 ～数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫～	「分かった！楽しい！もっと知りたい！」 ～数学的な思考力・表現力を育てる指導の工夫～	互いの考えを認め合い、よりよく生きる児童の育成 ～考え・議論する道徳授業の実践～	「互いの考えを認め合い、よりよく生きる児童の育成」 ～考え・議論する道徳授業の実践～	「互いの考えを認め合い、よりよく生きる児童の育成」 ～考え・議論する道徳授業の実践～
平 山 小 学 校	防災を中心とした安全教育に関連する指導内容を統合・追加・再編成して、未来へ生き抜く力の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を定着させるとともに、主体的・協働的・創造的に行動する態度を育成するための学び方の変革を図り、新たな教科等の枠組を構築する研究開発。	防災を中心とした安全教育に関連する指導内容を統合・追加・再編成して、未来へ生き抜く力の基盤となる基礎的・基本的な知識・技能を定着させるとともに、主体的・協働的・創造的に行動する態度を育成するための学び方の変革を図り、新たな教科等の枠組を構築する研究開発。	主体的・対話的で深い学びを実現する授業づくり	(1) 学びにつづける・取り組みにつづける平山っ子【学ぶ力・特別活動】 (2) 頑張ったことを認め合う幼児・児童を育てる【幼小連携】 (3) 教員一人一人が前向きに力を発揮できる学校づくり【校務改善】	(1)児童一人一人が、自分の成長を実感し、支え合い、高め合う仲間集団を育てる【学ぶ力・特別活動】 (2)頑張ったことを認め合う幼児・児童を育てる【幼小連携】 (3)教員一人一人が前向きに力を発揮できる学校づくり【校務改善】
日 野 第 八 小 学 校	考える力を伸ばす指導の工夫 ～数学的な考え方を育む学習活動を通して～	考える力を伸ばす指導の工夫 ～わかることが楽しさにつながる算数の授業を目指して～	地域に愛着をもち、自ら考え、学び合う児童の育成 ～地域と連携し、地域資源を活用した活動の実践～	「地域に愛着をもつ子の育成」 ～地域と豊かに関わる活動を通して～	持続可能な社会を担う児童の課題解決力の育成 ～地域と豊かに関わる活動を通して～
滝 合 小 学 校	「根拠をもって、自分の考えを伝え合える子の育成」 ～国語科を通して～	自ら感じ、考え、表現できる子供の育成 ～読みを深める指導の工夫～	自ら感じ、考え、表現できる子どもの育成 ～読みを深める指導の工夫～	「確かな読みを身に付ける国語科の授業づくり」 ～説明的な文章の読みを通して～	確かな読みを身に付ける国語科の授業づくり ～説明的な文章を通して～
日 野 第 七 小 学 校	豊にかかわり合い、すすんで運動に取り組む 児童の育成 ～器械運動系の学習を中心にして～	豊かにかかわり合い、すすんで運動に取り組む児童の育成 ～ゲーム・ボール運動の学習を中心にして～	一人一人が自分の考えをもち、主体的に伝えようとする児童の育成を目指して	「一人一人が自分の考えをもち、主体的に伝えようとする児童の育成を目指して」 ～読む力が高まる指導の工夫～	一人一人が自分の考えをもち、主体的に伝えようとする児童の育成を目指して ～対話的な授業の創造、かかわり合いの中で学び合う児童の育成～
南 平 小 学 校	思考力・表現力を伸ばす算数科の学習活動の工夫 ～言語活動の充実をめざして～	物語を読み味わう児童の育成 ～言語活動の充実をめざして～	物語を読み深め合う児童の育成 ～言語活動の充実を通して～	「物語を読み深め合う児童の育成」 ～言語活動の充実を通して～	自分の思いや考えを主体的に表現する児童の育成 ～「書くこと」を通して～
旭 が 丘 小 学 校	「健康な体を育む」 ～運動・食育を通して～	進んでからだを育もうとする旭っ子 ～健康的な運動・生活習慣の形成と豊かなかかわり合いのある授業づくりを通して～	「進んでからだを育もうとする旭っ子」 ～健康的な運動・生活習慣の形成と豊かなかかわり合いのある授業づくりを通して～	「進んでからだを育もうとする旭っ子」 ～健康的な運動・生活習慣の形成と豊かなかかわり合いのある授業づくりを通して～	進んでからだを育もうとする旭っ子 ～健康的な運動・生活習慣の形成と豊かなかかわり合いのある授業づくりを通して～
東 光 寺 小 学 校	運動の楽しさや喜びを味わえる体育学習 ―体づくり運動の学習を通して―	豊かに読む児童の育成 ～UD化の視点を入れて～	「豊かに読む児童の育成」 ～全ての児童が読み取り、友達と考えを伝え合う授業を目指して～	「自他を大切にし、よりよい学級・学校を目指す児童の育成」 ～確かな児童理解と望ましい集団活動を通して～	自他を大切にし、よりよい学級・学校を目指す児童の育成 ～互いに認め合い、よさを発揮し合う集団活動を通して～
仲 田 小 学 校	協働的な学習を通して自分の考えを深めることができる児童の育成	協働的な学習を通して自分の考えを深めることができる児童の育成 ～書くことを中心に～	協働的な学習を通して、自分の考えを深めることができる児童の育成 ～書くことを中心に～	「児童の思いや考えを引き出す学習指導の工夫」 ～児童が自ら伝えたいと思う授業のしかけ作り～	主体的・対話的な学習を通して自分の考えを深めることができる児童の育成 ～言語活動の工夫を通して～
夢 が 丘 小 学 校	運動の楽しさや喜びを味わいながら、体力を向上させる体育学習 ～コーディネーショントレーニングの取り組みを通して～	お互いを認め合い、よりよく生きる児童の育成	お互いを認め合い、よりよく生きる児童の育成 ～アクティブな道徳授業の実践～	「主体的に考え、学びを深める児童の育成」 ～伝えあいの中で、豊かな『読み』を育む指導～	共に地域に生きる ～交流活動及び共同学習を通して～
七 生 緑 小 学 校	全ての児童が参加し、理解できる授業づくり ～算数科のユニバーサルデザイン化をとおして～	算数科における授業のユニバーサルデザイン化 ～全ての児童の参加・理解、習得・活用をめざして～	算数科における授業のユニバーサルデザイン化 ～全ての児童の参加、理解、習得・活用をめざして～	全ての児童の参加、理解、習得・活用をめざす授業のユニバーサルデザイン化	共に地域に生きる ～交流活動及び共同学習を通して～

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
日 野 第 一 中 学 校	各教科、道徳、総合的な学習の時間、における言語活動の充実を図る授業力向上にむけた取り組みについて	言語活動の充実に重点を置いて授業力の向上を図る	言語活動の充実に重点を置いて授業力の向上を図る	「主体的・対話的で深い学び」の視点を踏まえた道徳授業実践の方法と道徳の教科化に向けた評価の方法についての研鑽	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けての授業の立案と実践
日 野 第 二 中 学 校	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身につけた児童の育成～9年間の学びの連続性を生かして～	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身に付けた児童・生徒の育成～9年間の学びの連続性を生かして～（豊田小・五小・二中連携）	地域に根差し、明日の社会を切りひらく力を身に付けた児童・生徒の育成～9年間の学びの連続性を生かして～（豊田小・五小・二中連携）	考え、議論する道徳の授業づくり	「考え、議論する道徳」の授業づくりを目指して
七 生 中 学 校	学ぶ力を向上させる体験的学習の研究	支援を必要としている生徒たちへの手立てについて	個に応じたきめ細やかな教育の推進～ステップ教室やリソースルームの活用～	「考え、議論する」道徳教育の推進	「考え、議論する」道徳教育の推進
日 野 第 三 中 学 校	I C T機器を効果的に利用し、すべての生徒が授業に参加できる授業づくりの実践～三中で研究してきたことの見直しと定着～	「ICT活用授業による学力向上と授業のUD化」～三中ICT授業活用例作りと共有化～	合理的配慮や個に応じた授業の工夫	「道徳授業の研究」～話し合い活動の充実と評価方法～	共に地域に生きる～交流活動及び共同学習を通して～
日 野 第 四 中 学 校	「学力向上を目指した若手教員の指導力を高める工夫」～O J Tの実践を通して～	2 1 世紀型能力を育むための指導の工夫～生徒の社会参画力の向上を目指して～	2 1 世紀型能力を育むための指導の工夫～生徒の社会参画力の向上を目指して～	特別な教科道徳 教科化に向けた授業及び評価の研究	教科指導の改善 協働的で深い学び(話し合い活動)を見据えた、評価方法の検討と教科指導の研究
三 沢 中 学 校	自他を尊重し、自ら考え表現できる、心豊かな生徒を育む道徳教育の充実	・各教科でのUD化授業：指導案の作成と授業実施 ・自他を尊重し、自ら考え表現できる、心豊かな生徒を育む道徳教育の充実	・各教科でのUD化授業・指導案の作成と授業の実施 ・道徳及び各教科で「話し合い活動」を取り入れた授業の実施 ・各学年で、道徳の研究授業の実施 ・全校道徳の実施	・各教科でのUD 化授業の推進・指導案の作成と授業の実施 ・各学年で、道徳の研究授業の実施 ・全校道徳の実施	・平成30・31年度 働き方改革研究奨励校（デジタル採点導入・活用、成果と課題） ・地域をステージとした教育活動の実施（ボランティア活動） ちょこボ（ちょこっとボランティア活動） ・各教科でのUD化授業・指導案の作成と授業の実施 ・道徳及び各教科で「話し合い活動」を取り入れた授業の実施 ・各学年で、道徳の研究授業・道徳の評価についての研修 ・全校道徳の実施
大 坂 上 中 学 校	豊かな人間性の育成を目指した道徳教育の実践	豊かな人間性の育成を目指した道徳教育の実践	道徳の教科化を見据えた『ねらい』と『評価』の研究の推進	・道徳の教科化を見据えた『ねらい』と『評価』の研究の推進	・授業力の向上に向けて ・特色ある教育活動（小中連携・特別支援教育）の推進
平 山 中 学 校	「オリンピック・パラリンピックの推進」～人・もの・こととのかかわりの中で～	「オリンピック・パラリンピックの推進」～人・もの・こととのかかわりの中で～	授業における個に応じた指導の充実～生徒が授業のねらいを捉え、思考する過程を通して学力を身に付けるための工夫～	「特別の教科 道徳」の内容理解と評価の在り方 ～考え、議論する道徳授業の実践を通して～	・授業力の向上に向けて ・特色ある教育活動（小中連携・特別支援教育）の推進

中学校卒業者の進路状況（翌年度 5.1現在）（人）

卒業年度	男女別	卒業者数	進 学 者						専修学校等	就職者	無業者等	死亡・不詳	(再掲・就職者のうち)		
			高校(全日制)	高校(定時制)	高校(通信制)	高専	特別支援学校	計					高校(定時制)	高校(通信制)	専修学校等
平成27年度	総数	1,428	1,271	50	50	17	16	1,404	9	6	9	-	-	1	-
	男	711	621	27	23	16	9	696	5	3	7	-	-	1	-
	女	717	650	23	27	1	7	708	4	3	2	-	-	-	-
平成28年度	総数	1,419	1,261	48	58	13	15	1,395	11	2	11	-	-	1	-
	男	724	622	33	36	13	11	715	1	2	6	-	-	1	-
	女	695	639	15	22	-	4	680	10	-	5	-	-	-	-
平成29年度	総数	1,479	1,320	42	60	16	22	1,460	13	-	6	-	-	4	-
	男	747	656	18	40	12	12	738	6	-	3	-	-	4	-
	女	732	664	24	20	4	10	722	7	-	3	-	-	-	-
平成30年度	総数	1,436	1,281	36	71	13	12	1,413	10	1	12	-	-	1	-
	男	711	626	21	37	11	8	703	2	1	5	-	-	1	-
	女	725	655	15	34	2	4	710	8	-	7	-	-	-	-
令和元年度	総数	1,446	1,286	38	75	9	16	1,424	10	1	11	-	-	1	-
	男	750	656	20	46	5	12	739	3	1	7	-	-	1	-
	女	696	630	18	29	4	4	685	7	-	4	-	-	-	-

保育カウンセラー配置事業

(人)

	公私立別	配置園数	配置人数	配置延べ時間
平成27年度	公立	5	4	388.0
	私立	8	6	432.0
平成28年度	公立	5	5	382.5
	私立	8	5	438.5
平成29年度	公立	4	4	297.5
	私立	9	6	656.0
平成30年度	公立	4	4	271.5
	私立	9	7	668.0
令和元年度	公立	4	4	272.0
	私立	9	7	634.5

「選べる学校制度」選択状況（特別支援学級進学者除く）（各年度 4.7現在）

小学校																									(人)
入学年度	平成27年度					平成28年度					平成29年度					平成30年度					令和元年度				
学校名	学区内 人数	希望者 (増)	他校選 択者(減)	入学 者数	選択率	学区内 人数	希望者 (増)	他校選 択者(減)	入学 者数	選択率	学区内 人数	希望者 (増)	他校選 択者(減)	入学 者数	選択率	学区内 人数	希望者 (増)	他校選 択者(減)	入学 者数	選択率	学区内 人数	希望者 (増)	他校選 択者(減)	入学 者数	選択率
日野第一小学校	82	6	27	61	74.4%	89	7	28	68	76.4%	99	7	37	69	69.7%	76	8	27	57	75.0%	76	10	25	61	80.3%
豊田小学校	120	15	15	120	100.0%	136	22	14	144	105.9%	132	20	24	128	97.0%	165	19	27	157	95.2%	140	17	30	127	90.7%
日野第三小学校	78	2	17	63	80.8%	80	4	19	65	81.3%	81	5	18	68	84.0%	79	5	24	60	75.9%	76	3	12	67	88.2%
日野第四小学校	110	25	9	126	114.5%	117	18	6	129	110.3%	112	19	10	121	108.0%	109	11	8	112	102.8%	115	11	13	113	98.3%
日野第五小学校	107	27	19	115	107.5%	119	29	29	119	100.0%	118	27	21	124	105.1%	131	26	24	133	101.5%	125	25	19	131	104.8%
日野第六小学校	110	11	9	112	101.8%	107	12	4	115	107.5%	121	7	6	122	100.8%	101	10	3	108	106.9%	121	10	3	128	105.8%
潤徳小学校	93	30	13	110	118.3%	100	30	19	111	111.0%	114	38	16	136	119.3%	82	40	13	109	132.9%	104	37	7	134	128.8%
平山小学校	90	12	8	94	104.4%	82	9	10	81	98.8%	80	14	10	84	105.0%	76	14	11	79	103.9%	93	12	9	96	103.2%
日野第八小学校	101	16	12	105	104.0%	105	18	11	112	106.7%	111	20	10	121	109.0%	110	14	13	111	100.9%	110	18	12	116	105.5%
滝合小学校	74	4	9	69	93.2%	83	1	8	76	91.6%	78	3	8	73	93.6%	66	0	10	56	84.8%	74	2	9	67	90.5%
日野第七小学校	109	8	14	103	94.5%	108	8	18	98	90.7%	114	10	16	108	94.7%	96	3	11	88	91.7%	105	10	14	101	96.2%
南平小学校	68	16	5	79	116.2%	61	19	4	76	124.6%	64	21	4	81	126.6%	61	28	8	81	132.8%	80	29	9	100	125.0%
旭が丘小学校	92	8	6	94	102.2%	93	5	6	92	98.9%	89	3	4	88	98.9%	80	3	3	80	100.0%	74	1	6	69	93.2%
東光寺小学校	65	1	7	59	90.8%	83	4	4	83	100.0%	54	3	8	49	90.7%	75	5	9	71	94.7%	61	0	12	49	80.3%
仲田小学校	63	8	14	57	90.5%	68	10	11	67	98.5%	56	14	7	63	112.5%	69	16	6	79	114.5%	57	17	9	65	114.0%
夢が丘小学校	47	4	2	49	104.3%	50	3	6	47	94.0%	65	2	2	65	100.0%	48	2	3	47	97.9%	52	1	1	52	100.0%
七生緑小学校	83	8	15	76	91.6%	65	6	8	63	96.9%	71	2	14	59	83.1%	64	3	7	60	93.8%	65	4	17	52	80.0%
計	1,492	201	201	1,492	-	1,546	205	205	1,546	-	1,559	215	215	1,559	-	1,488	207	207	1,488	-	1,528	207	207	1,528	-

中学校																									(人)
入学年度	平成27年度					平成28年度					平成29年度					平成30年度					令和元年度				
学校名	学区内 人数	希望者 (増)	他校選 択者(減)	入学 者数	選択率	学区内 人数	希望者 (増)	他校選 択者(減)	入学 者数	選択率	学区内 人数	希望者 (増)	他校選 択者(減)	入学 者数	選択率	学区内 人数	希望者 (増)	他校選 択者(減)	入学 者数	選択率	学区内 人数	希望者 (増)	他校選 択者(減)	入学 者数	選択率
日野第一中学校	263	21	24	260	98.9%	260	23	32	251	96.5%	257	20	17	260	101.2%	232	32	27	237	102.2%	239	19	23	235	98.3%
日野第二中学校	148	22	46	124	83.8%	126	24	35	115	91.3%	138	29	44	123	89.1%	154	17	51	120	77.9%	174	24	45	153	87.9%
七生中学校	137	41	16	162	118.2%	140	36	14	162	115.7%	132	44	19	157	118.9%	128	46	19	155	121.1%	140	46	17	169	120.7%
日野第三中学校	82	38	12	108	131.7%	78	32	11	99	126.9%	65	47	12	100	153.8%	66	13	15	64	97.0%	58	20	18	60	103.4%
日野第四中学校	252	15	9	258	102.4%	241	12	13	240	99.6%	220	11	10	221	100.5%	217	22	12	227	104.6%	228	19	10	237	103.9%
三沢中学校	253	29	44	238	94.1%	266	32	38	260	97.7%	287	24	51	260	90.6%	230	37	20	247	107.4%	254	34	17	271	106.7%
大坂上中学校	206	8	31	183	88.8%	186	11	39	158	84.9%	188	5	33	160	85.1%	199	13	31	181	91.0%	211	10	26	195	92.4%
平山中学校	99	16	8	107	108.1%	95	25	13	107	112.6%	100	12	6	106	106.0%	79	17	22	74	93.7%	88	14	30	72	81.8%
計	1,440	190	190	1,440	-	1,392	195	195	1,392	-	1,387	192	192	1,387	-	1,305	197	197	1,305	-	1,392	186	186	1,392	-

学校図書館図書保有数

小学校

(冊)

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
日野第一小学校	10,676	11,005	10,882	11,333	10,536
豊田小学校	11,697	12,020	12,387	12,470	11,867
日野第三小学校	10,222	10,464	10,620	10,790	10,959
日野第四小学校	9,354	9,291	9,311	9,442	9,245
日野第五小学校	8,061	8,349	8,601	8,836	9,169
日野第六小学校	9,232	9,573	9,727	9,831	10,141
潤徳小学校	11,988	12,293	11,814	12,003	12,021
平山小学校	11,620	11,991	12,337	12,310	11,954
日野第八小学校	11,981	12,053	12,270	12,218	12,469
滝合小学校	10,056	10,063	10,086	9,851	9,612
日野第七小学校	9,350	7,867	8,273	8,416	8,832
南平小学校	10,428	10,731	10,861	11,153	10,897
旭が丘小学校	10,802	12,451	12,540	12,242	12,302
東光寺小学校	9,580	9,750	9,724	9,961	9,961
仲田小学校	9,285	9,610	9,764	9,939	10,087
夢が丘小学校	11,593	11,593	12,189	12,460	12,231
七生緑小学校	9,720	9,411	9,313	9,215	9,352
合計	175,645	178,515	180,699	182,470	181,635

中学校

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
日野第一中学校	13,748	14,041	14,296	14,564	14,799
日野第二中学校	11,687	12,020	11,912	11,087	10,695
七生中学校	11,308	10,954	10,815	10,886	11,082
日野第三中学校	9,770	10,057	10,060	9,843	9,986
日野第四中学校	14,207	14,450	14,590	14,857	14,779
三沢中学校	11,186	11,408	11,457	11,404	11,542
大坂上中学校	11,053	11,294	11,204	11,253	11,668
平山中学校	13,508	13,745	13,956	14,221	14,081
合計	96,467	97,969	98,290	98,115	98,632

学校図書館図書貸出数及び児童・生徒一人あたりの貸出数
小学校

(冊)

	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり
日野第一小学校	12,700	30	12,440	29	14,951	36	16,472	40	18,681	45
豊田小学校	25,045	35	24,357	32	26,516	35	32,128	40	34,131	42
日野第三小学校	23,269	64	23,117	57	20,095	52	22,554	55	23,789	58
日野第四小学校	14,726	20	16,378	22	18,502	25	18,046	25	18,885	26
日野第五小学校	16,633	33	16,805	30	17,423	28	21,193	30	20,350	28
日野第六小学校	20,057	27	19,870	28	21,130	30	24,938	36	25,057	36
潤徳小学校	28,321	38	30,550	42	30,824	42	28,908	40	29,847	41
平山小学校	15,181	29	15,259	30	14,952	29	15,261	28	14,936	28
日野第八小学校	29,598	39	28,256	39	32,161	45	29,237	43	26,193	38
滝合小学校	10,334	30	11,889	30	11,182	27	11,494	27	10,869	25
日野第七小学校	28,357	51	25,890	46	27,130	46	28,450	48	21,006	36
南平小学校	31,383	58	35,554	69	36,099	74	34,414	67	34,718	67
旭が丘小学校	35,563	62	33,932	59	34,390	60	35,735	67	36,326	68
東光寺小学校	14,858	35	16,164	38	17,209	42	14,976	38	12,860	32
仲田小学校	12,111	33	9,505	25	10,174	28	12,145	30	9,446	23
夢が丘小学校	10,931	33	10,860	34	12,962	40	14,030	43	13,687	42
七生緑小学校	16,970	37	16,360	36	14,143	33	12,429	30	10,327	25
合 計	346,037	38	347,186	38	359,843	39	372,410	40	361,108	39

*一人あたりの貸出数：（貸出数÷在籍児童数）で算出しています。

中学校

(冊)

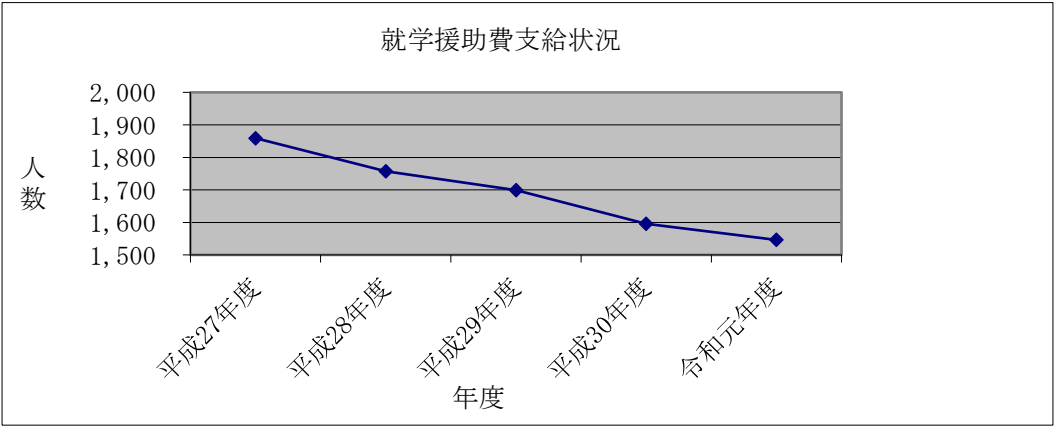
	平成27年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度	
	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり	貸出数	一人あたり
日野第一中学校	2,345	3	2,434	3	2,255	3	3,342	5	3,874	5
日野第二中学校	2,411	6	2,962	7	3,040	8	3,274	8	3,178	7
七生中学校	2,921	6	3,280	7	3,819	8	4,925	10	6,257	12
日野第三中学校	3,308	9	2,840	8	2,121	6	1,601	7	1,558	7
日野第四中学校	2,551	3	1,698	2	1,516	2	1,475	2	1,750	3
三沢中学校	3,124	4	2,979	4	2,910	4	2,576	3	2,622	3
大坂上中学校	1,508	3	1,734	3	1,333	2	1,182	2	2,077	4
平山中学校	775	2	1,463	4	1,293	4	873	3	885	3
合 計	18,943	5	19,390	5	18,287	4	19,248	4	22,201	5

*一人あたりの貸出数：（貸出数÷在籍生徒数）で算出しています。

就学援助費支給状況

(人)

	小学校			中学校			合計
	就学援助費 (要保護)	就学援助費 (準要保護)	小計	就学援助費 (要保護)	就学援助費 (準要保護)	小計	
平成27年度	56	1,062	1,118	41	700	741	1,859
平成28年度	60	985	1,045	47	665	712	1,757
平成29年度	55	950	1,005	49	645	694	1,699
平成30年度	56	917	973	46	577	623	1,596
令和元年度	63	893	956	48	542	590	1,546



特別支援教育就学奨励費支給状況

(人)

	小学校	中学校	合計
平成27年度	140	23	163
平成28年度	161	22	183
平成29年度	200	43	243
平成30年度	234	55	289
令和元年度	239	68	307

